

授業作り	重点	各教科・領域で共通した「話し合いプログラム」を取り入れた活動に協働的に取り組みませ、話し合う力の育成を行う。また、「デジタルドリル」を活用して個々の習熟度に合わせた問題や演習に取り組みませ、基礎学力を更に定着させる。
環境作り		学習習慣を定着させるために連絡ノートを活用して、毎日の家庭での学習状況を把握し、コメントによる指導助言を行う。また、家庭学習の手引きの作成を各教科で行い、自主学习に取り組みやすい環境を整備する。

■ 各教科の取組について

教科	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子などから)	目標達成のための取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読み書き・文法・古文に関する知識など、「言語事項」が定着していない傾向がある。特に漢字の書き取りにおいて苦手意識が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着を図る為、定期的に漢字テストを実施する。</li> <li>文法・古文に関する知識に対し、苦手意識をもたせないよう、タブレット端末での教材提示や課題提出など、ICT機器を積極的に活用していく。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 単元ごとの漢字テスト実施</li> <li>② デジタルドリルの活用</li> <li>③ ワークシートの工夫</li> </ol>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業には意欲をもって取り組み、途中式や自分の考えを丁寧に書く習慣が身に付いている生徒が多い。</li> <li>一方で、基礎・基本の定着が不十分な生徒も見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別少人数指導を生かした、個に応じた指導で、基礎基本の定着を図る。</li> <li>デジタル教科書やデジタルドリル等のICT機器の活用や効果的な言語活動を取り入れることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を高めていく。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 単元テストの実施による理解度・定着度の確認</li> <li>② デジタルドリルの活用</li> <li>③ ワークシートの工夫</li> </ol>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年が上がるにつれて活用問題の正答率が低い傾向がある。</li> <li>分野によって理解度に差があり、計算などに苦手意識が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察・実験に意欲的に取り組ませる指導を継続する。</li> <li>基礎学力の定着を図る為、定期的に確認テストを実施する。</li> <li>実験結果を基に、生徒が自ら意識的に考察し、表現できるような指導を行う。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 基本事項の確認</li> <li>② ワークシートの工夫</li> <li>③ デジタルドリルの活用</li> <li>④ 日々の授業の振り返り</li> <li>⑤ 観察・実験による体験的な学びの実施</li> </ol>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識の定着が十分ではなく、選択・短答式問題の到達スコアが低い傾向にある。</li> <li>思考力は全国・区の平均より高いが、生徒によって能力に差がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の振り返りを通して、学習した事項を確認させ、知識を定着させる。</li> <li>机間指導を実施して生徒の取組状況を把握し、個に応じた指導を行う。</li> <li>グラフや資料の読み取りから、生徒の思考力を高める教科指導を継続する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 単元テストの実施による理解度・定着度の確認</li> <li>② デジタルドリルの活用</li> <li>③ ワークシートの工夫</li> </ol>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの学年でも全国・区の平均を上回っている。しかしその中でリスニングの正答率が低い傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着の向上を継続するために、ドリルパーク等を通じ、繰り返し学習を推奨する。</li> <li>日頃からリスニングの活動を取り入れ、シャドーイングなどを行い、リスニング力の向上を図る。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 単元テストの実施による理解度の確認</li> <li>② デジタルドリルの活用</li> <li>③ リスニング教材の工夫</li> </ol>

